


2018年3月期第3四半期
決算説明資料

2018年1月30日

 日立化成株式会社

(億円)

項目	17/3Q	前年 同期比	17/1Q ~3Q	
			前年 同期比	
売上収益	1,779	124 %	4,978	124 %
営業利益	163 9.1%	106 %	359 7.2%	88 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	128	88 %	296	94 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	163 9.2%	101 %	454 9.1%	111 %

為替レート (1US\$)	平均	¥112.98	¥109.30
	期末	¥113.00	¥116.49

¥111.70	¥106.62
¥113.00	¥116.49

機能材料

784億円（前年同期比 108%）

◆ 電子材料

3次元構造のNAND型フラッシュメモリ向けを中心に、CMPスラリーが増加

◆ 無機材料

環境対応自動車向けに、リチウムイオン電池用カーボン負極材が増加

◆ 樹脂材料

スマートフォン向けに、ディスプレイ用回路接続フィルムが増加

◆ 配線板材料

スマートフォンやサーバー向けを中心に、銅張積層板、感光性フィルムが増加

先端部品・システム

995億円（前年同期比 140%）

◆ 自動車部品

今年度第2四半期にISOLITE GmbHを連結子会社化したことや、新製品の立ち上げ等により、樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品が増加

◆ 蓄電デバイス・システム

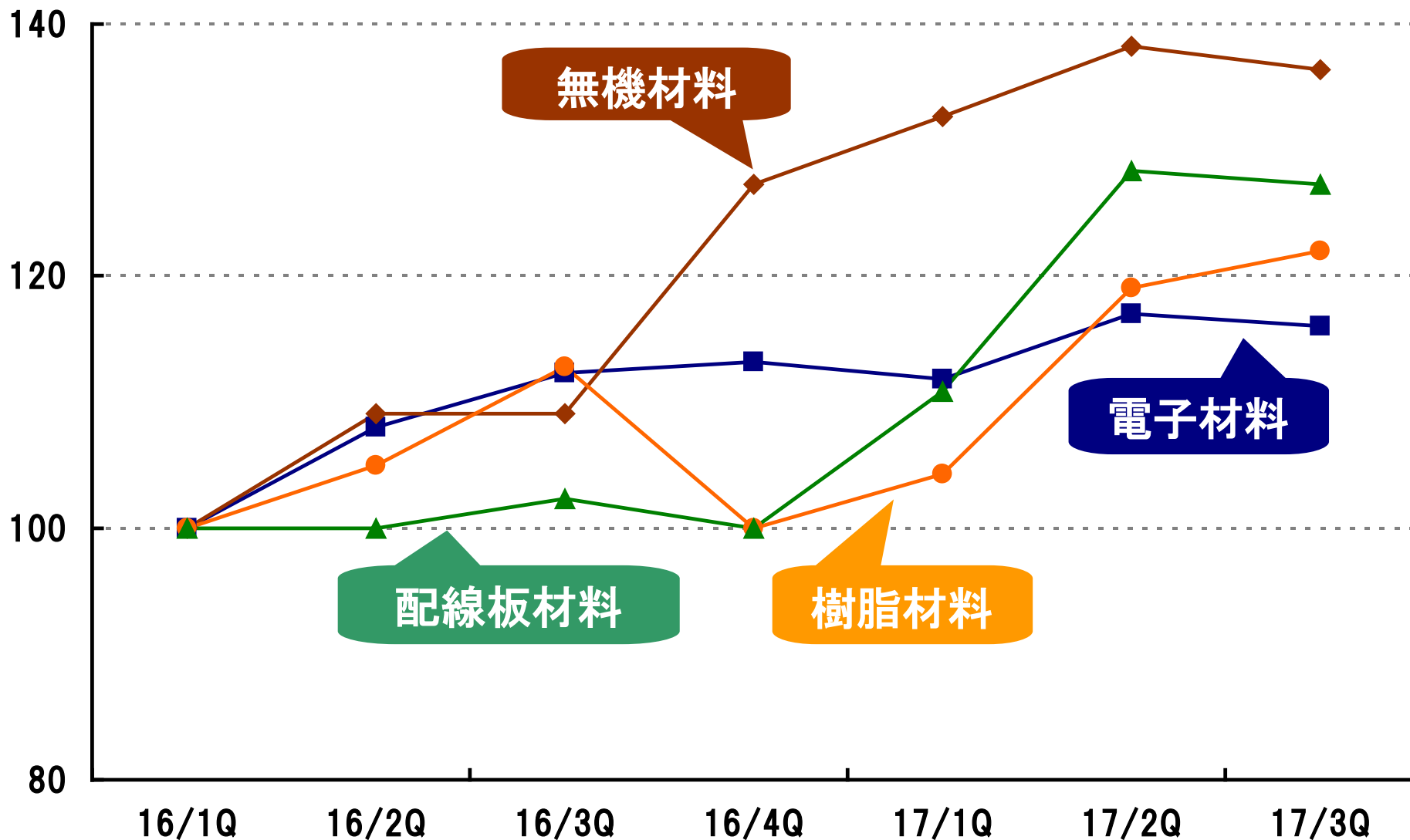
前年度第4四半期にFIAMM Energy Technology S.p.A.を、今年度第2四半期にThai Storage Battery Public Limitedを連結子会社化したこと等により、車両用電池と産業用電池が増加

◆ 電子部品

半導体検査装置向け等に、配線板が増加

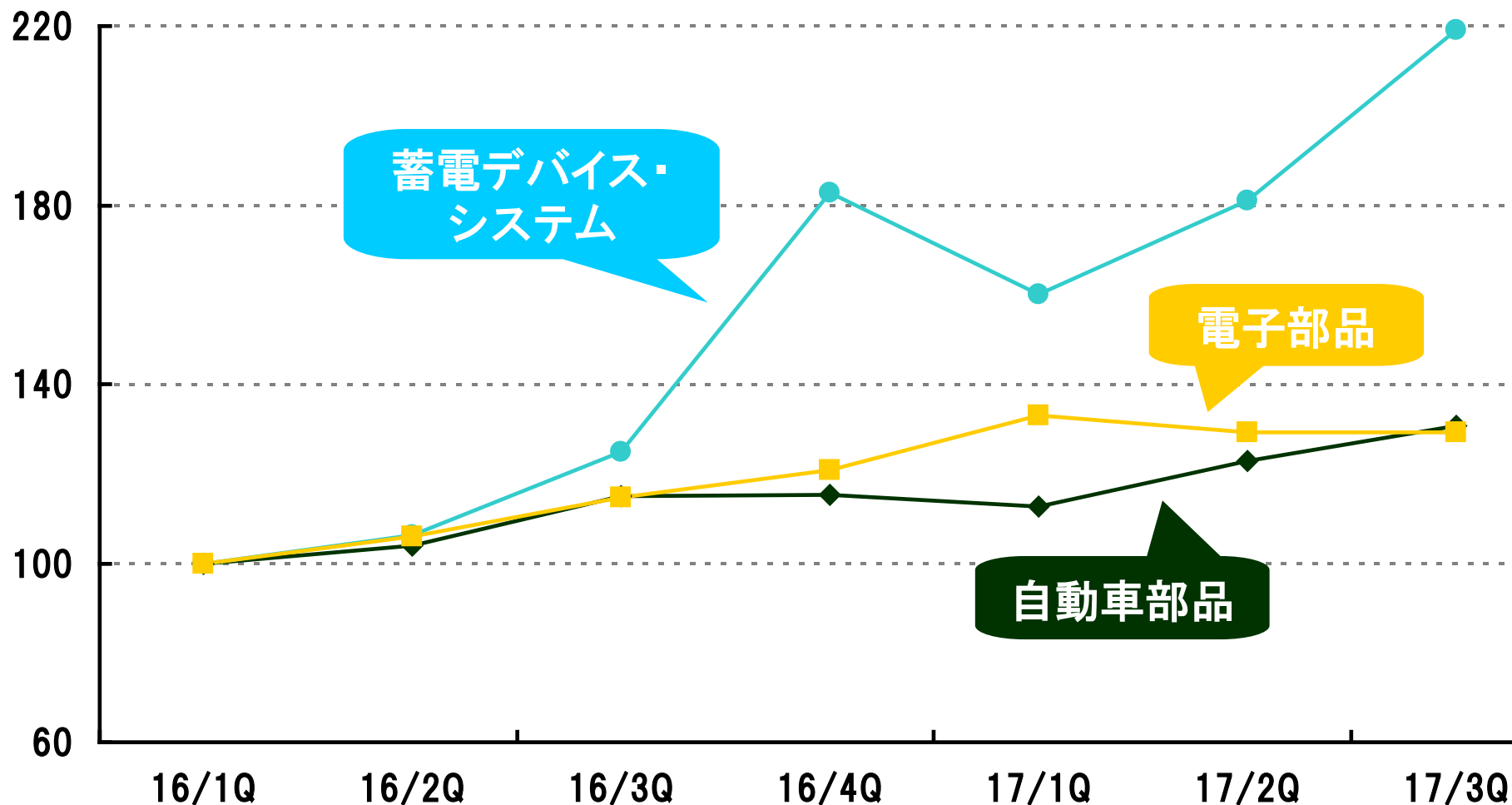
	売上収益	前年同期比
機能材料	784 億円	108 %
電子材料	246	104
封止材		107
ダイボンディング材料		83
CMPスラリー		113
無機材料	75	125
リチウムイオン電池用負極材		133
樹脂材料	172	108
ディスプレイ用回路接続フィルム		102
配線板材料	224	124
銅張積層板		121
感光性フィルム		129

対16/1Q指数

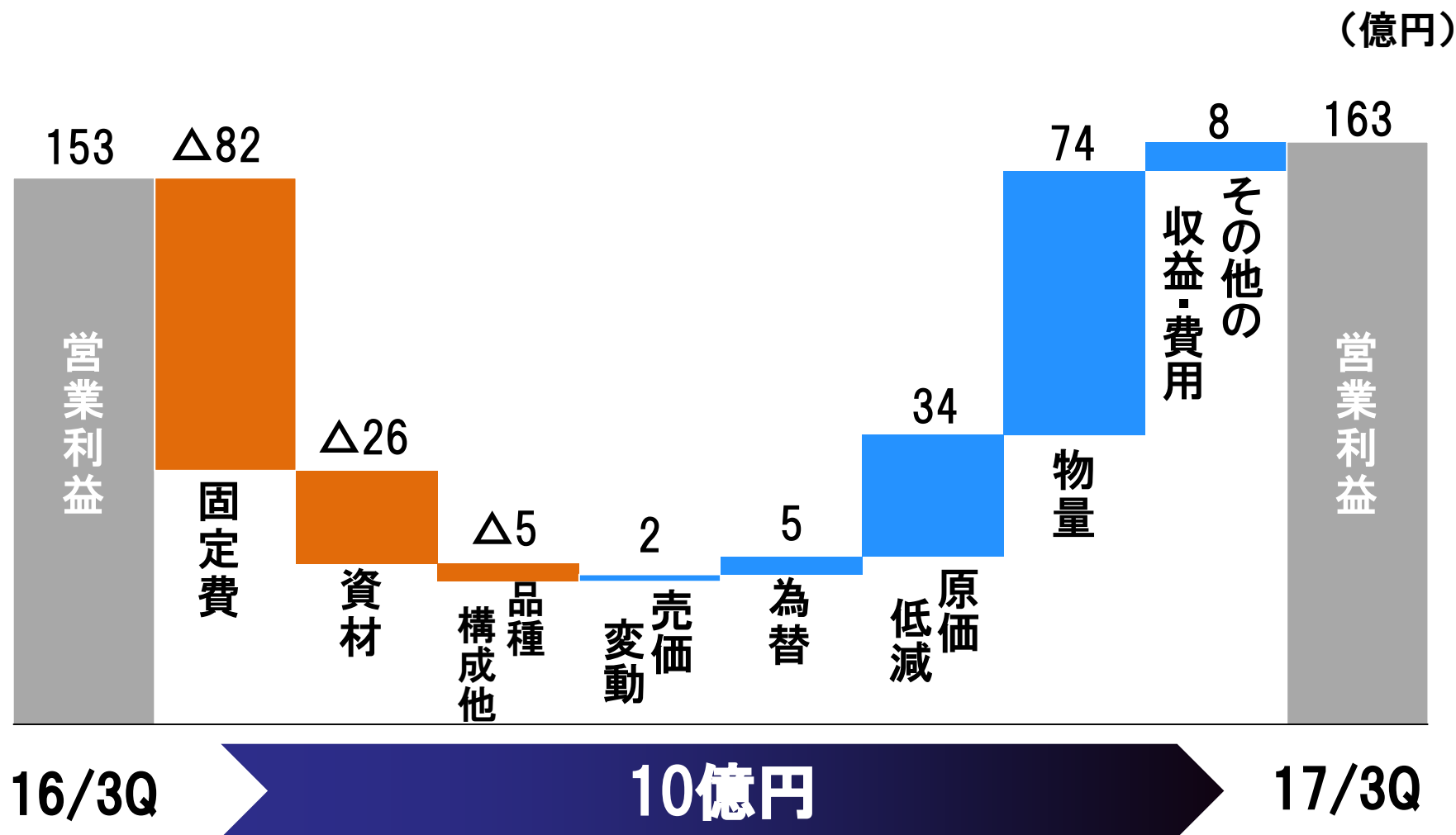


	売上収益	前年同期比
先端部品・システム	995 億円	140 %
自動車部品	374	114
樹脂成形品		119
摩擦材		121
粉末冶金製品		106
蓄電デバイス・システム	495	176
車両用電池		240
産業用電池		143
電子部品	106	112

対16/1Q指数



営業利益の偏差説明（1）



営業利益の偏差説明(2)

(億円)

セグメント	16/3Q	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種 構成他	その他の 収益・ 費用	17/3Q
機能材料	115	18	△13	3	△2	20	△7	△1	4	137
先端部品 ・ システム	38	56	15	2	△24	14	△75	△4	4	26
計	153	74	2	5	△26	34	△82	△5	8	163

(億円)

項目	16年度末 (2017/3月末)	17/3Q末 (2017/12月末)	増減
総資産	6,092	6,951	860
負債	2,277	2,851	574
有利子負債	474	1,007	533
純資産	3,814	4,100	286
親会社株主持分	3,750	4,014	264
	61.6%	57.7%	

(注)17/3Qにおいて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、16年度末については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(億円)

項目	16/3Q	17/3Q	対前年 増減
営業活動による キャッシュフロー	92	66	△ 26
投資活動による キャッシュフロー	△ 101	△ 125	△ 25
財務活動による キャッシュフロー	△ 52	173	225
資金残高	1,065	930	△ 135

(億円)

項目	16年度 実績	17年度見通し		前年度 比	10月 公表比
		10月公表	今回公表		
売上収益	5,541	6,700	6,700	121 %	100 %
営業利益	532 9.6%	510 7.6%	490 7.3%	92 %	96 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	402	405	400	100 %	99 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	540 9.8%	620 9.3%	590 8.8%	109 %	95 %

為替レート (1US\$)	平均	¥108.38	¥110.53	¥111.78
	期末	¥112.19	¥110.00	¥112.00

機能材料

2,980億円 (前年度比 109%)

足元では例年の季節要因に加えてスマートフォン向けの需要減少による影響を受けるものの、総じて半導体関連等の需要が堅調に推移していることにより、前年度を上回る見込み

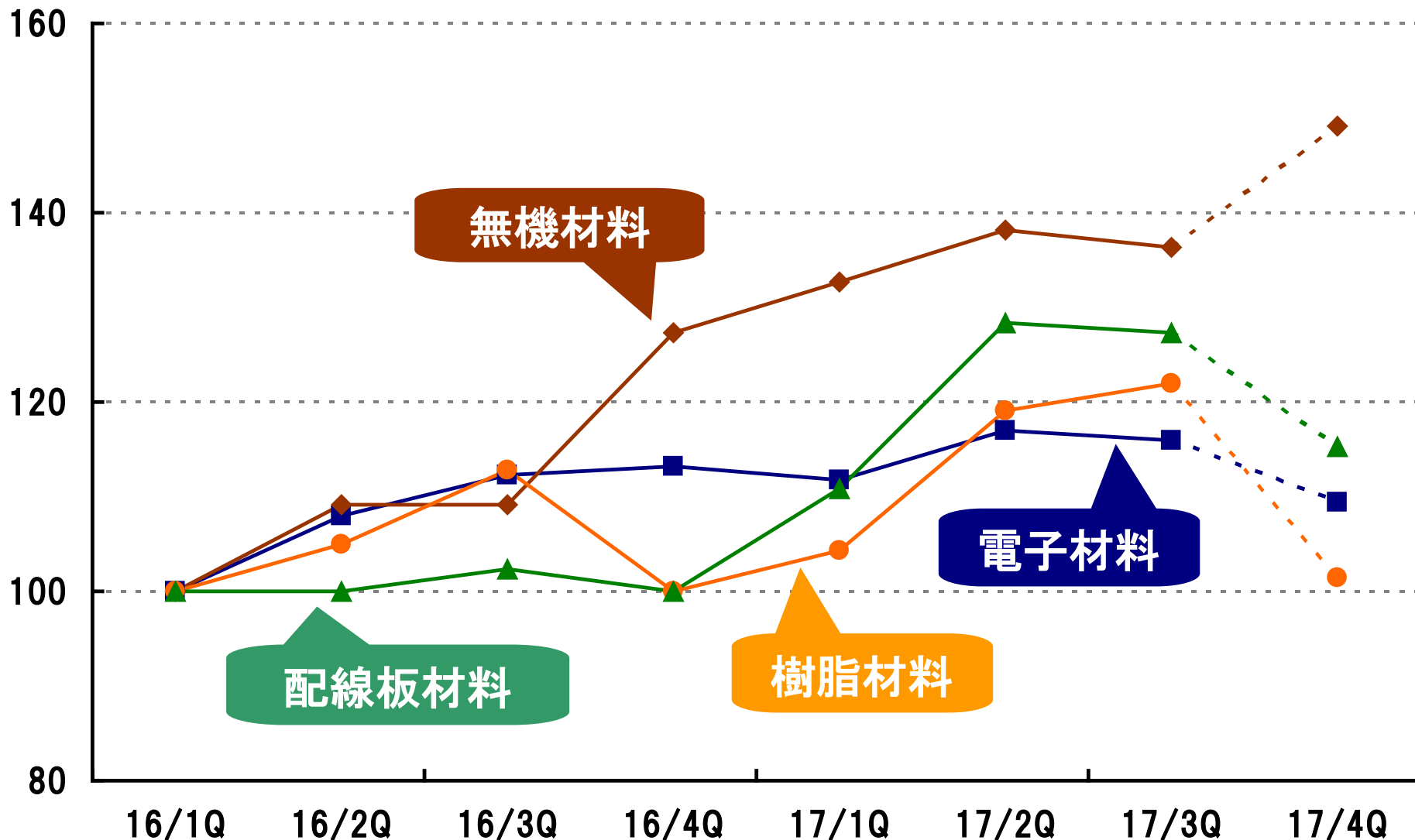
先端部品・システム

3,720億円 (前年度比 132%)

新規連結子会社による売上増や自動車部品の新製品立上げ等により、前年度を上回る見込み

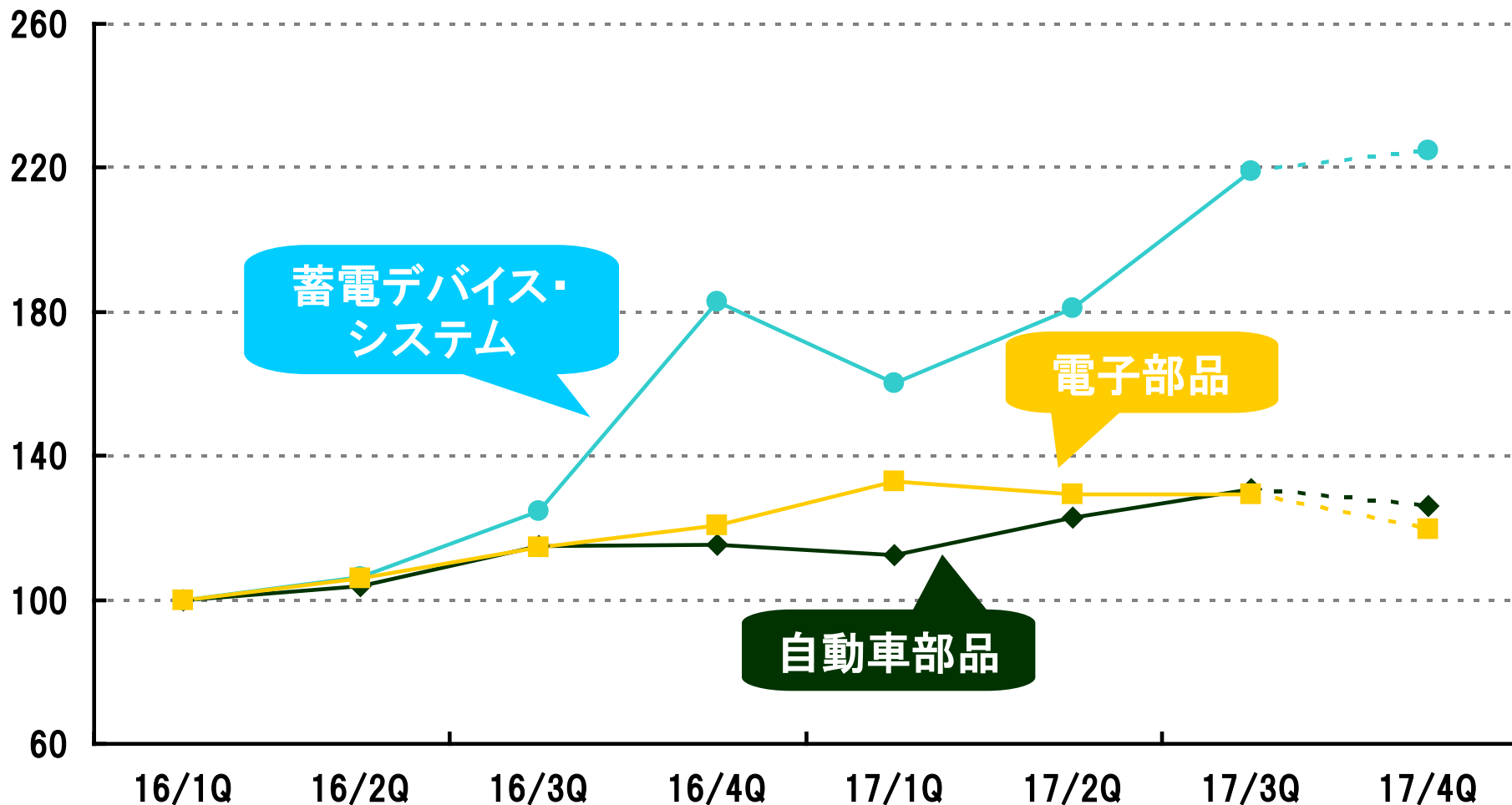
	売上収益	前年度比
機能材料	2,980 億円	109 %
電子材料	964	105
封止材		107
ダイボンディング材料		88
CMPスラリー		122
無機材料	306	125
リチウムイオン電池用負極材		137
樹脂材料	631	107
ディスプレイ用回路接続フィルム		106
配線板材料	848	120
銅張積層板		119
感光性フィルム		121

対16/1Q指数

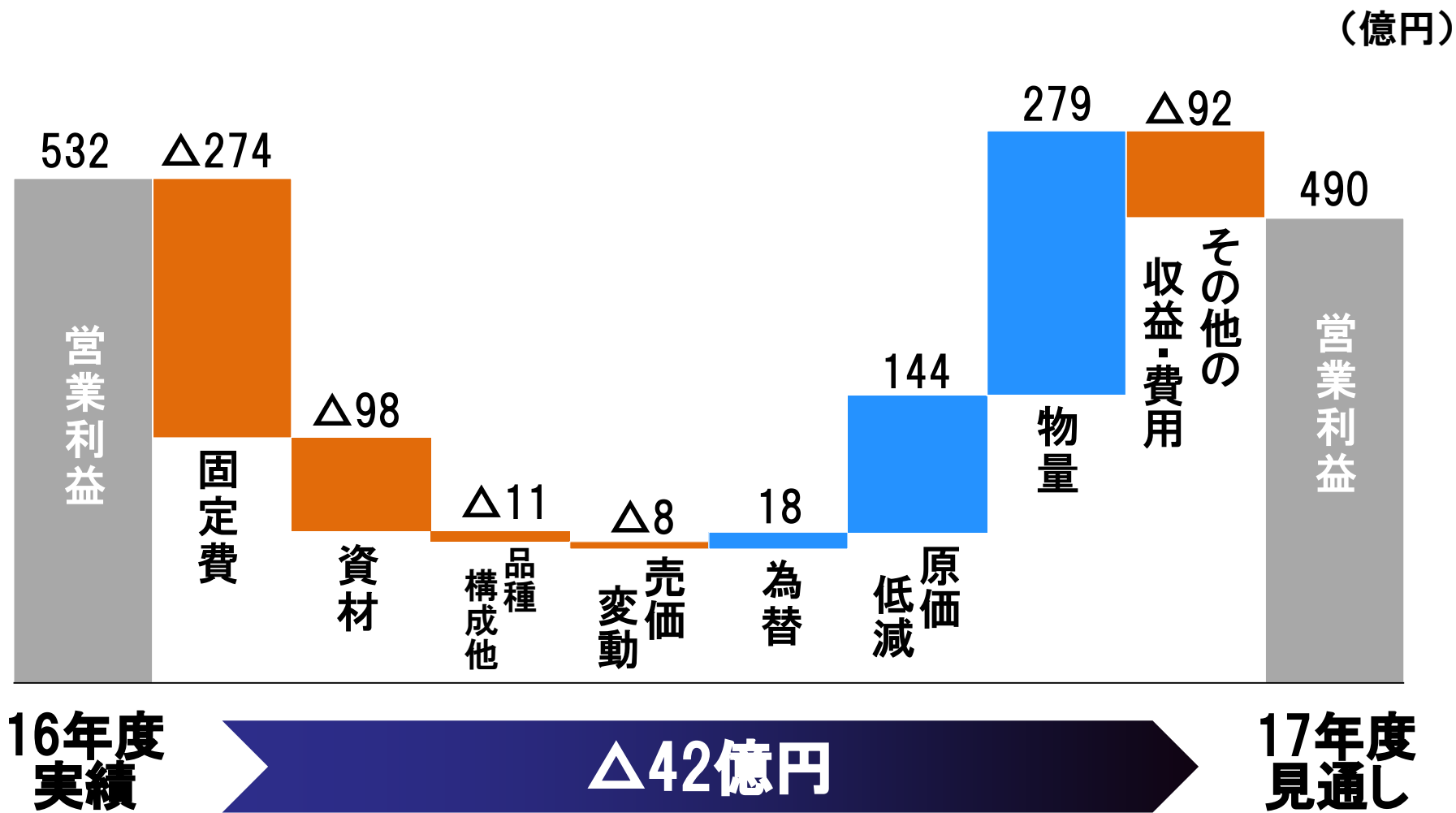


	売上収益	前年度比
先端部品・システム	3,720 億円	132 %
自動車部品	1,406	113
樹脂成形品		118
摩擦材		119
粉末冶金製品		107
蓄電デバイス・システム	1,774	153
車両用電池		186
産業用電池		137
電子部品	419	116

対16/1Q指数



営業利益の偏差説明（1）



営業利益の偏差説明(2)

(億円)

セグメント	16年度	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種 構成他	その他の 収益・ 費用	17年度 見通し
機能材料	443	84	△52	11	△21	76	△44	3	△30	470
先端部品 ・ システム	89	195	44	7	△77	68	△230	△14	△62	20
計	532	279	△8	18	△98	144	△274	△11	△92	490

(参考)主要材料購入単価推移

(16年度を100とした指数表示)

項目	16年度	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q
原油(ドバイ)	100	106	108	127	139
鉛	100	105	111	122	122
エポキシ	100	100	100	100	105
PETフィルム	100	100	100	100	100
MMA	100	107	107	107	121
ガラスクロス	100	112	112	113	116
銅箔	100	110	108	120	125

Hitachi Chemical

Working On Wonders

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

